

TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

東北大学附属図書館概要

2020



使命

東北大学附属図書館は、本学における学術情報流通の中核として情報基盤の重要な部分を担い、研究者・学生及び職員が必要とする情報資源の収集、創成、組織化並びに提供を通じて本学における教育・研究活動を支援する。

さらに、国内外並びに地域社会における学術研究の進展及び文化の振興に寄与する。(ミッション声明より)

表紙の資料

原稿「道草」…漱石晩年の作品「道草」の反古(ほご)原稿。全102回連載の内、当館が所蔵する草稿15枚は、第33回と第39回分の一部である。漱石の伝記的な要素が強い作品と評され、家族や親族との不和や葛藤が描かれる。飛び散ったインクの跡は、原稿に向かう漱石の姿を種々に想像させる。

1907

- 1907年6月 東北帝国大学設置
- 1911年6月 図書館設置
- 1915年7月 医科分館(現・医学分館)設置
- 1916年6月 官制改正により図書館を附属図書館に改称
- 1925年12月 附属図書館本屋(現・史料館)竣工



東北大学附属図書館(大正末～昭和初期)

1960

- 1947年9月 農学部図書室開設
- 1949年5月 学制改革により新制・東北大学に改組
- 1957年4月 富沢分校 分館設置
- 1957年4月 医科分館を 医学部分館に改称
- 1958年9月 富沢分校分館が移転し、川内分校分館に改称



医学分館(昭和初年)



本館(1972年竣工)

1970

- 1970年1月 OECD寄託図書館に指定
- 1972年4月 教養部分館廃止、本館に統合 医学部分館を医学分館に改称
- 1973年11月 本館全面開館
- 1974年4月 農学部分館(現・農学分館)設置
- 1978年4月 工学分館設置 農学部分館を農学分館に改称



農学分館(1979年竣工)

1980

- 1982年4月 北青葉山分館設置
- 1983年9月 EC資料センター(現・EUi)に指定
- 1987年9月 図書館情報処理ネットワークシステム 全面稼働



工学分館(1980年竣工)

1990

- 1990年5月 本館2号館開館



医学分館(1984年竣工)

2000

- 2000年11月 記念資料室廃止(史料館に転換)
- 2007年3月 東北大学機関リポジトリ TOUR公開
- 2009年2月 本館耐震改修工事終了



北青葉山分館(1985年竣工)

2010

- 2011年3月 東日本大震災により被災
- 2011年6月 附属図書館創立100周年
- 2014年10月 本館リニューアル開館
- 2016年12月 農学分館(雨宮キャンパス)閉館



本館2号館(1989年竣工)

2020

- 2017年4月 農学分館(青葉山 commons内)開館
- 2020年秋頃 医学分館リニューアル開館予定



青葉山 commons(2016年竣工)

組織

Organization



(2020年4月1日現在)

全学授業実施

4月に全学教育科目「大学生のレポート作成入門：図書館を活用したスタディスキル」を開講し、学生による授業評価で全項目において平均を上回る評価を得ました。また、7月には学習支援機能の強化のため情報サービス課を再編し、学習支援係を新設しました。



無線LANの増強

館内への持ち込みパソコン等への対応及び2020年4月から導入が本格化するBYODへの対応として本館内の無線LANの増強を行いました。

SNSでの活発な情報発信



学生向けの図書館利用案内及び講習会開催の周知等のため、TwitterやInstagramでの情報発信を活発に行っています。

電子ジャーナルの整備



海外出版社の大型パッケージを維持し、学内の教員・学生への充実した学術情報提供を維持しています。また、OA出版を含めた新たな契約モデルへの対応を見据え、研究推進課と共催で学内6か所で館長によるセミナーを実施しました。

貴重書展示

貴重書を紹介する企画展として「進化×深化：蔵書でたどる『種の起源』への道のり」を開催しました。そのほかに入生歓迎展示やホームカミングデーなど多くの機会を捉えて資料展示を実施しています。



資料のデジタル化

研究における貴重書の活用を推進するため、国文学研究資料館を中心とした大型プロジェクトに参加し、貴重書等約4,700点のデジタル化を実施しました。今後も計画的にデジタル化を行う予定です。



国際会議への参加



大学図書館における専門人材の育成のため、韓国のソウルで開催された環太平洋研究図書館連合(PRRLA)の年次総会に職員を派遣し、本学の取り組みなどについて発表を行いました。

留学生との協働

12か国18名の留学生コンシェルジュによる相談窓口の設置や図書館紹介の動画配信、英語によるニュースレターの発行などを行っています。また、仙台での暮らしの知恵について情報交換するイベント「Vivi SENDAI!」も開催しました。



基金設置

東北大学特定基金「図書館のみらい基金」を設置し、貴重資料のデジタル化や講演会実施等への支援を呼びかけました。

クラウドファンディング実施

資料の劣化が進む「漱石文庫(当館貴重書)」のデジタル化を早期に実現するため、一般から寄付を募るクラウドファンディングを実施しました。期間終了までに目標金額を超える寄附の申し込みをいただき、2020年度内のデジタル化に着手することができました。



蔵書数

420万冊



国立大学図書館で第4位
出典:大学ランキング2020

年間入館者数



110万人

一日平均1,800人(2018年度 本館)

SNSフォロワー数(国内の大学図書館の中で)

Twitter

第4位



最多リツイート数 2,504件(2019年度)
※令和元年台風19号に関するエントリ



Instagram

第3位



開設1年で
フォロワー数が急上昇!

年間貸出冊数



33万冊

学生1人あたり年間17冊
(2018年度)

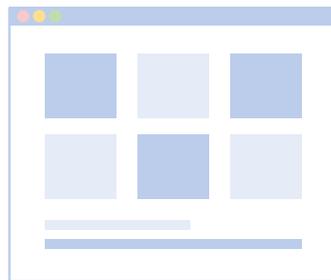
機関リポジトリ収録件数



8.2万件

論文登載件数は国内第3位
出典:大学ランキング2020

資料デジタル化件数



37万コマ

一般の方にも活用していただけるよう計画的にデジタル化を進めています(2019年度)

電子ジャーナルダウンロード数



370万件

研究に欠かせない学術情報として
充実を図っています
(2018年度)

所蔵資料の放映・掲載件数



180件

テレビ・新聞等を通じて、貴重資料の
存在を知ってもらうことは重要です
(2019年度)

自主財源の確保



約700万円

基金やクラウドファンディング、グッズ売上、
外部資金の獲得等により
自主財源の確保に努めています(2019年度)

国宝「史記 孝文本紀第十」延久5年(1073)



▶「史記 孝文本紀第十」延久5年(1073)

「史記」は、司馬遷によって編纂された古代の歴史書。本書は、文章博士を輩出した大江家に伝来した祖本を大江家国が書写し、訓点をほどこしたものの。本巻は宋刊本に先行する特徴を残す。大江家の学風が窺われ、年代が明記された「史記」としては我国で最古のもの。

国宝「類聚国史 卷第二十五」平安時代末期



▶「類聚国史 卷第二十五」平安時代末期

「類聚国史」は、菅原道真が編纂にあたり892年に完成した歴史書。本来存在する205巻のうち現存するのは62巻であり、その他の史書を補う貴重な記述を含む。当館が所蔵する「巻第二十五」は平安末期の書写で最古の写本の一つとされる。

狩野文庫

秋田県大館出身の教育者・思想家である狩野亨吉(かのうこうきち)の収集したコレクション。和漢書を中心に10万冊を超える。「古典の百科全書」「江戸学の宝庫」とも称され、国宝2点もこの文庫に含まれていた。



▶絵本狂歌山満多山(やまたやま)

漱石文庫

夏目漱石の旧蔵書約3千冊から成るコレクション。漱石自身の書き込みがある図書が多数存在し、この他、日記、ノート、原稿・草稿など、本文庫から数多く全集へ収録される。漱石研究における貴重な基礎資料となっている。



▶「渡航日記」

チベット大蔵経

多田等観が、ダライ・ラマ13世の信頼を受け、チベットでの勉強を終えた際下賜されたもの。大蔵経のなかでも本学所蔵のデルゲ版は、校訂の精確さと印刷の鮮明さを備え、その目録は「東北目録」として世界的に参照される。



▶「西藏大蔵経」(デルゲ版)

秋田家史料

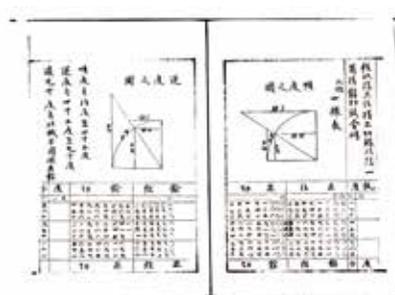
秋田氏は本姓を安藤(安東)とし、中世の東北地方北部から北海道方面にかけて勢力を誇った大名。秋田家史料とは、この秋田家に伝来した典籍・文書類。大名家の文化的側面を示す詠草や肖像画、政治的側面を示す内書、法規類、覚書などから成る。



▶安東愛季(ちかすえ)肖像

和算関係文庫

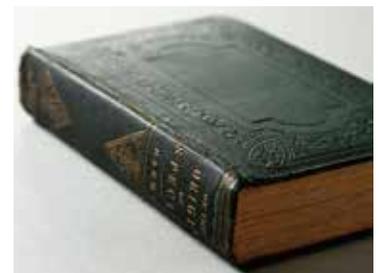
東北帝国大学時代からの本学教授陣により、代々収集されてきた和算の一大コレクション。その他の旧蔵書も追加し現在約2万冊にのぼる。狩野文庫に含まれる和算関係資料と合わせ全国有数の質と量を誇る。



▶「算量地術」

『種の起源』初版

進化論で知られるチャールズ・ダーウィンが自然選択説を提唱した著作の初版。他にも本学は、ダーウィンの研究協力者オーウェンの自筆献辞のある「ビートル号航海の動物学」を所蔵する。



▶「種の起源」初版(1859)

附属図書館・部局図書館

川内キャンパス

- **本館**
- 文学研究科・文学部図書室
- 教育学研究科・教育学部図書室
- 法学研究科・法学部図書室
- 経済学研究科・経済学部図書室
- 東北アジア研究センター図書室

星陵キャンパス

- **医学分館**
- 歯学研究科・歯学部図書室

青葉山キャンパス

- **北青葉山分館**
- 理学研究科数学専攻研究資料室
- 理学研究科物理学専攻図書室
- **工学分館**
- 情報科学研究科数学図書室
- **農学分館**

片平キャンパス

- 法政実務図書室
- 金属材料研究所図書室
- 流体科学研究所図書室
- 電気通信研究所図書室
- 多元物質科学研究所図書室



●●●●● 仙台市営地下鉄**南北線**
 ●●●●● 仙台市営地下鉄**東西線**

※地図は距離・方角などが実際と異なります。
 最寄駅の参照にお使いください。
 地下鉄仙台駅から青葉山駅までの所要時間は約9分です。

※各館・室の開館時間やアクセス方法はウェブサイトをご覧ください。

東北大学特定基金 「図書館のみらい基金」のご案内

附属図書館では2019年3月に「図書館のみらい基金」を設置し皆様のご支援を呼び掛けています。主たる目的として「貴重な資料をウェブサイトから閲覧いただくためのデジタルコレクションの構築」、「貴重書展示会や講演会等のイベント実施」、「図書館設備の充実」などを掲げています。是非ご支援を検討くださいますようお願いいたします。



詳細はQRコードから
東北大学の基金の
サイトをご覧ください。



附属図書館オリジナルグッズは 大学生協で購入できます!

当館所蔵の貴重資料「漱石文庫」「狩野文庫」をモチーフとしたオリジナル文具を大学生協で販売しています(川内店のみ)。資料に関心を寄せるきっかけになれば幸いです。どうぞご利用ください。



狩野文庫「海幸」「山幸」一筆箋



夏目漱石一筆箋

WEB



<http://www.library.tohoku.ac.jp>

Twitter



@hagi_no_suke

Instagram



tohoku_univ_lib

KIBOKO



<http://www.library.tohoku.ac.jp/about/kiboko/kiboko.html>

編集・発行 東北大学附属図書館



〒980-8576 仙台市青葉区川内2-7-1 tel:022-795-5911/fax:022-795-5909

2020年4月1日